

2020年8月3日

住友金属鉱山、別子地区の寮を更新

居住社員同士のコミュニケーションを発想や創造に繋げる仕掛けも

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：野崎 明、以下「住友金属鉱山」）は、このほど別子地区への新社員寮の建設を開始いたしました。竣工は2022年9月を予定しております。

愛媛県新居浜市に位置する別子地区は当社のものでづくりの中心的拠点であり、「世界の非鉄リーダー」に向けた成長戦略の推進や若手社員の育成においても重要な位置づけを担っています。

当地区の現社員寮が老朽化し全面更新が必要となったことを受けての対応ですが、新社員寮の設計にあたっては、生活の基盤としての充実を図るのは勿論のこと、生産性・創造性の向上と社員の成長に繋がる場となるよう工夫いたしました。

生産性・創造性の向上を意図した設計：

ソファやローテーブルを配した「談話スペース」、シェアキッチンやダイニングテーブルを設置した「多目的スペース」、ベンチやバーベキュー設備のある「ガーデンエリア」などの共用施設を充実させます。

こうした空間が社員同士のコミュニケーションを促進し、所属部署を超えた人脈構築、情報交換や議論が行われ、ひいては職場での生産性などの改善やビジネスの種となるアイデアの創出に繋がることを期待しております。

共用施設が有効活用されるような仕掛けも取り入れますが、その一方で、プライベートの時間を個々人が自由に快適に過ごせるよう、各入居者の居室も充実を図っております。

社員の成長を意図した設計：

ビジネス書や新聞の閲覧、集中して自己啓発が可能な「ライブラリースペース」を設けます。

また、本件を当社のSDGs関連取組みの一環とし、「2030年のありたい姿」の達成に向けた設備面の対応として、照明の全面LED採用、太陽光発電パネルや蓄電池の導入によるCO2排出量低減を図ってまいります。

当社は、「成長戦略を支える人材の確保・育成」を18中計の基本戦略の中に位置づけているほか、「2030年のありたい姿」においても、多様な人材の育成と活躍を重要課題としております。今後も、社員一人一人の力がより発揮され、より意欲的にかつ安心して働ける制度設計を進めてまいります。

【参考】

新社員寮 基本情報

建設地：	愛媛県新居浜市星越町乙 2021
敷地面積：	24,627 m ²
建築面積：	3,622 m ²
延床面積：	11,150 m ²
建築物：	住居棟：地上 6 階 2 棟、地上 3 階 1 棟、 管理棟：平屋
基本構造：	鉄骨 ALC 造
居室数：	259 戸
居室間取り：	1K タイプ、ミニキッチン、バス・トイレ付
その他：	太陽光発電・蓄電池の設置

完工イメージ図



以上

本件に関するお問合せ先

住友金属鉱山株式会社 広報 IR 部 東京都港区新橋 5-11-3 新橋住友ビル

TEL：03-3436-7705 Eメール：smm_koho@smm-g.com